



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社フジタコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 3370 URL <https://www.fujitacorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 清水 清作 TEL 0144-34-1111
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 2026年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	5,068	3.6	160	40.9	154	36.7	125	29.2
2025年3月期	4,892	6.6	113	21.3	112	△11.8	96	84.1

(注) 包括利益 2026年3月期 134百万円 (36.1%) 2025年3月期 99百万円 (78.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	36.02	—	42.8	5.5	3.2
2025年3月期	27.78	—	51.2	4.0	2.3

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	2,816	345	12.3	74.04
2025年3月期	2,798	238	8.5	35.31

(参考) 自己資本 2026年3月期 345百万円 2025年3月期 238百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	193	△151	△91	313
2025年3月期	224	△236	△141	362

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00	6	7.2	9.5
2026年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	10	8.3	5.5
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00		8.2	

(注) 1. 2025年3月期期末の配当原資には、資本剰余金が含まれております。詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,531	2.8	36	△8.0	28	△9.3	20	38.6	5.76
通期	5,216	2.9	150	△6.0	142	△7.3	127	2.1	36.74

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	3,432,300株	2025年3月期	3,413,300株
2026年3月期	79株	2025年3月期	79株
2026年3月期	3,423,289株	2025年3月期	3,413,221株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

種類別株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	180.00	180.00
2026年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2027年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 1. 2025年3月期におけるA種優先株式の期末配当は資本剰余金を配当原資としております。詳細は後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

2. 2027年3月期の配当予想額につきましては、約定通りであります。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2025年3月期期末の普通株式の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	期末	合計
1株当たり配当金	2円00銭	2円00銭
配当金総額	6,826千円	6,826千円

(注) 純資産減少割合は、0.026（小数点以下第3位切り上げ）であります。

2025年3月期期末のA種優先株式の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	期末	合計
1株当たり配当金	180円00銭	180円00銭
配当金総額	18,000千円	18,000千円

(注) 純資産減少割合は、0.068（小数点以下第3位切り上げ）であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結貸借対照表に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	16
(重要な後発事象の注記)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策効果などを背景に緩やかに回復傾向が続いております。一方で、継続的な物価上昇による消費者マインドの停滞、不安定な国際情勢も継続しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する飲食・小売、製造・卸売及び農畜産業におきましては、原材料、光熱費の高止まり、人手不足等による人件費関連コストの上昇が継続しており、依然として事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、中期経営計画に基づいて、高収益が見込める業態について慎重に検討したうえ、新規出店、改装及び新規事業への参入を進めることとしており、当連結会計年度において北海道網走郡津別町の「道の駅あいおい」の運営を受託し、新規に事業を開始いたしました。

当連結会計年度末における当社グループの飲食・小売部門の稼働店舗数は47店舗（前年同期末、48店舗）、製造・卸売部門1拠点、農畜産部門1拠点であります。当連結会計年度の経営成績は、売上高5,068,508千円（前年同期比3.6%増）、営業利益160,599千円（同40.9%増）、経常利益154,059千円（同36.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益125,115千円（同29.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

a. 飲食・小売部門

当連結会計年度の飲食・小売部門におきましては、フランチャイジー事業はフランチャイズ本部主導の新商品の投入や販売促進活動を、オリジナルブランド事業は季節限定商品の開発及び販売を継続し、スマートフォンのアプリやSNS等及び定期的なメニューの投下・訴求することで、リピート顧客の獲得に努めてまいりました。

飲食・小売部門の当連結会計年度の売上高は4,529,304千円（同5.0%増）、セグメント利益176,594千円（同13.9%増）となりました。

b. 製造・卸売部門

当連結会計年度の製造・卸売部門におきましては、衛生管理に最大限の注意を払いつつ、効率的かつ最大製造数を目標に掲げるとともに、新たな商品の開発及び販売並びに新規取引先開拓による販路拡大の双方で収益の最大化に努めてまいりました。

製造・卸売部門の当連結会計年度の売上高は332,276千円（同9.4%減）、セグメント利益12,271千円（同91.5%増）となりました。

c. 農畜産部門

当連結会計年度の農畜産部門におきましては、搾乳量の増加目標を掲げ、栄養管理、牛舎環境の改善、牧草の自社栽培等によるコスト削減に努めた結果、前連結会計年度と比較して増益となりました。

農畜産部門の当連結会計年度の売上高は206,928千円（同3.3%減）、セグメント損失13,073千円（前年同期はセグメント損失32,467千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の流動資産は728,268千円となり、前連結会計年度末に比べ22,938千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が36,945千円減少したものの、原材料及び貯蔵品が13,656千円、その他の流動資産が41,525千円増加したこと等によるものであります。固定資産は2,087,898千円となり、前連結会計年度末に比べ5,718千円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が13,154千円増加したものの、有形固定資産が4,013千円、のれんの償却により無形固定資産が14,859千円減少したこと等によるものであります。

この結果、当連結会計年度末における総資産は2,816,166千円となり、前連結会計年度末に比べ17,220千円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末の流動負債は833,390千円となり、前連結会計年度末に比べ47,921千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が49,510千円減少したものの、買掛金が31,602千円、短期借入金が80,544千円増加したこと等によるものであります。固定負債は1,636,776千円となり、前連結会計年度末に比べ138,117千円減少いたしました。これは主に長期借入金が130,538千円減少したこと等によるものであります。

この結果、当連結会計年度末における負債合計は2,470,167千円となり、前連結会計年度末に比べ90,195千円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は345,999千円となり、前連結会計年度末に比べ107,415千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益125,115千円等によるものであります。

この結果、当連結会計年度末における自己資本比率は12.3%（前連結会計年度末は8.5%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ48,945千円減少し、313,479千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は193,443千円（同14.0%減）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益115,621千円及び減価償却費141,745千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は151,324千円（同35.9%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出143,026千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は91,064千円（同35.5%減）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額80,544千円があるものの、長期借入金の返済による支出129,481千円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

項 目	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	8.5	12.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	28.8	55.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	9.2	10.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	4.6	3.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式及び優先株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、中東をはじめとする地政学リスクにより世界経済は不透明な状況であり、国内経済は緩やかな回復傾向にあるものの、物価上昇に伴う消費マインドの停滞、原材料費・人件費・光熱費の高騰など、当社グループを取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続くものと予想しております。また、それらの費用の安定や高止まりの見通しなどの未確定な要素が多いものの、各種コストの削減等を継続しつつ積極的な人材の確保に努め、利益最大化に努めてまいります。

このような環境の中、翌連結会計年度(2027年3月期)業績見通しにつきましては、売上高5,216,246千円、営業利益150,948千円、経常利益142,862千円、親会社株主に帰属する当期純利益127,682千円を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当連結会計年度における当社グループの業績は、営業利益160,599千円、親会社株主に帰属する当期純利益125,115千円を計上している一方で、有利子負債が2,025,340千円と負債純資産の71.9%を占め、手元流動性に比して高水準にあるため、一部の取引金融機関から返済条件の緩和を継続して受けている状況にあります。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは当該重要事象等を解消すべく、事業面及び資金面において対応策を講じております。

事業面におきましては、店舗において期間限定メニューの投下やサービスの訴求、スマートフォンのアプリやSNS等を使用した効率的な販売促進活動による収益確保と販売管理費等のコストの削減を両立し、収益力の強化に努めてまいります。また、飲食・小売事業、製造・卸売事業に共通する原材料・消耗品をはじめとする全社的なコスト削減活動を継続してまいります。さらには、「食」に関連する事業展開につきましても、サステナビリティを意識しつつ、収益拡大に向けた取引先の新規開拓、ネット通販等の対面以外の販路の充実や海外での事業活動開始に向けた調査・トライアル販売にも着手しており、より多くのチャネルでの販売活動を行ってまいります。

資金面におきましては、一部の取引金融機関に対し、長期借入金元本返済条件緩和の継続を要請し、同意を得たうえで返済をしておりますが、今後もすべての取引金融機関との取引正常化に向けて活動を継続し、財務体質の改善を図ってまいります。

これらの具体的な対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと認識しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	365,424	328,479
売掛金	180,057	179,144
商品及び製品	25,028	33,047
仕掛品	12,537	10,133
原材料及び貯蔵品	65,558	79,214
その他	56,723	98,249
流動資産合計	705,329	728,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	809,872	804,810
機械装置及び運搬具（純額）	8,766	8,668
土地	428,228	428,721
建設仮勘定	528	673
その他（純額）	143,841	144,350
有形固定資産合計	1,391,237	1,387,223
無形固定資産		
のれん	45,578	30,385
借地権	140,000	140,000
その他	7,767	8,101
無形固定資産合計	193,346	178,486
投資その他の資産		
投資有価証券	61,897	65,948
敷金及び保証金	401,364	400,537
繰延税金資産	24,864	35,345
その他	50,932	62,457
貸倒引当金	△30,024	△42,100
投資その他の資産合計	509,033	522,188
固定資産合計	2,093,617	2,087,898
資産合計	2,798,946	2,816,166

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,639	119,242
短期借入金	228,772	309,316
1年内返済予定の長期借入金	156,389	157,446
リース債務	5,611	8,092
未払金	171,448	150,279
未払法人税等	54,410	4,899
その他	81,197	84,113
流動負債合計	785,468	833,390
固定負債		
長期借入金	1,654,429	1,523,891
リース債務	21,413	23,917
資産除去債務	16,134	16,357
その他	82,916	72,609
固定負債合計	1,774,894	1,636,776
負債合計	2,560,362	2,470,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	889,985	73,622
資本剰余金	549,534	162,259
利益剰余金	△1,205,885	95,287
自己株式	△53	△53
株主資本合計	233,580	331,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,933	14,813
その他の包括利益累計額合計	4,933	14,813
非支配株主持分	70	70
純資産合計	238,583	345,999
負債純資産合計	2,798,946	2,816,166

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	4,892,525	5,068,508
売上原価	2,001,032	2,025,332
売上総利益	2,891,492	3,043,176
販売費及び一般管理費	2,777,546	2,882,577
営業利益	113,946	160,599
営業外収益		
受取利息	355	869
受取配当金	1,113	1,029
受取支援金収入	18,815	—
不動産賃貸料	143,409	137,225
その他	21,288	28,539
営業外収益合計	184,982	167,664
営業外費用		
支払利息	52,068	49,832
不動産賃貸原価	116,446	113,956
その他	17,746	10,414
営業外費用合計	186,261	174,204
経常利益	112,667	154,059
特別利益		
固定資産売却益	181	3,643
資産除去債務戻入益	10,435	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	1,524	—
特別利益合計	12,141	3,643
特別損失		
固定資産除却損	11,388	8,583
店舗閉鎖損失	2,119	11,387
減損損失	1,852	10,034
貸倒引当金繰入額	—	12,076
特別損失合計	15,360	42,081
税金等調整前当期純利益	109,449	115,621
法人税、住民税及び事業税	39,755	5,501
法人税等調整額	△27,117	△14,995
法人税等合計	12,637	△9,493
当期純利益	96,811	125,115
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	96,811	125,115

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	96,811	125,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,343	9,880
その他の包括利益合計	2,343	9,880
包括利益	99,155	134,996
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	99,155	134,996
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	889,985	549,534	△1,302,697	△53	136,768
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			96,811		96,811
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	96,811	—	96,811
当期末残高	889,985	549,534	△1,205,885	△53	233,580

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,589	2,589	70	139,428
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				96,811
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	2,343	2,343	—	2,343
当期変動額合計	2,343	2,343	—	99,155
当期末残高	4,933	4,933	70	238,583

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	889,985	549,534	△1,205,885	△53	233,580
当期変動額					
新株の発行	3,622	3,622			7,245
減資	△819,985	819,985			—
欠損填補		△1,176,057	1,176,057		—
剰余金の配当		△24,826			△24,826
親会社株主に帰属する当期純利益			125,115		125,115
自己株式の取得				△10,000	△10,000
自己株式の消却		△10,000		10,000	—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	△816,362	△387,275	1,301,172	—	97,535
当期末残高	73,622	162,259	95,287	△53	331,115

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,933	4,933	70	238,583
当期変動額				
新株の発行				7,245
減資				—
欠損填補				—
剰余金の配当				△24,826
親会社株主に帰属する当期純利益				125,115
自己株式の取得				△10,000
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	9,880	9,880	—	9,880
当期変動額合計	9,880	9,880	—	107,415
当期末残高	14,813	14,813	70	345,999

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	109,449	115,621
減価償却費	134,659	141,745
減損損失	1,852	10,034
のれん償却額	15,192	15,192
資産除去債務戻入益	△10,435	—
店舗閉鎖損失	2,119	11,387
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,505	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	12,076
受取利息及び受取配当金	△1,469	△1,899
支払利息	52,068	49,832
固定資産除売却損益 (△は益)	11,206	4,939
売上債権の増減額 (△は増加)	10,475	912
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,899	△19,290
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,172	31,602
未払金の増減額 (△は減少)	1,836	△27,705
預り保証金の増減額 (△は減少)	△6,761	△7,541
その他	△15,323	△54,999
小計	287,292	281,909
利息及び配当金の受取額	1,469	1,899
利息の支払額	△48,546	△49,847
法人税等の支払額	△15,292	△40,517
営業活動によるキャッシュ・フロー	224,922	193,443
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,000	△12,000
投資有価証券の取得による支出	△1,727	△1,656
投資有価証券の売却による収入	3,000	12,000
有形固定資産の取得による支出	△243,983	△143,026
有形固定資産の売却による収入	181	4,697
長期貸付金の回収による収入	2,101	1,284
敷金及び保証金の回収による収入	13,279	2,231
資産除去債務の履行による支出	△364	—
その他	△5,737	△14,856
投資活動によるキャッシュ・フロー	△236,249	△151,324
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,437	80,544
長期借入れによる収入	900,876	—
長期借入金の返済による支出	△1,017,988	△129,481
リース債務の返済による支出	△3,557	△7,422
自己株式の取得による支出	—	△10,000
配当金の支払額	—	△24,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	△141,107	△91,064
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△152,434	△48,945
現金及び現金同等物の期首残高	514,858	362,424
現金及び現金同等物の期末残高	362,424	313,479

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結貸借対照表に関する注記)

当社及び連結子会社においては、成長投資等に向けた機動的な資金調達を目的として、取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
当座貸越極度額	100,000千円	100,000千円
借入実行残高	—	100,000
差引額	100,000	—

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは部門別の営業部を置き、各営業部は、取り扱う商品・製品・サービスについてフランチャイズ本部等の指導、顧客動向並びに季節指数に応じた戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社グループは、営業部を基礎とした商品・サービス及び事業形態別のセグメントから構成されており、「飲食・小売部門」、「製造・卸売部門」及び「農畜産部門」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額
	飲食・小売	製造・卸売	農畜産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,311,715	366,858	213,951	4,892,525	—	4,892,525
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,311,715	366,858	213,951	4,892,525	—	4,892,525
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,721	1,721	△1,721	—
計	4,311,715	366,858	215,672	4,894,246	△1,721	4,892,525
セグメント利益又は損失(△)	155,100	6,408	△32,467	129,040	△15,094	113,946
セグメント資産	1,038,022	75,853	344,201	1,458,077	1,340,869	2,798,946
その他の項目						
減価償却費	79,143	1,497	28,644	109,285	23,909	133,194
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	215,419	918	30,394	246,732	6,070	252,803

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主としてのれんの償却額であります。

(2) セグメント資産の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社資産であり、その関連費用は一定の按分比率により各報告セグメントで負担しております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額
	飲食・小売	製造・卸売	農畜産	計		
売上高						
顧客との契約から生じ る収益	4,529,304	332,276	206,928	5,068,508	—	5,068,508
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,529,304	332,276	206,928	5,068,508	—	5,068,508
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,529,304	332,276	206,928	5,068,508	—	5,068,508
セグメント利益又は損失 (△)	176,594	12,271	△13,073	175,792	△15,192	160,599
セグメント資産	1,096,951	78,085	310,022	1,485,059	1,331,107	2,816,166
その他の項目						
減価償却費	87,524	1,360	25,810	114,695	27,050	141,745
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	126,056	1,370	15,378	142,806	19,272	162,078

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、のれんの償却額であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社資産であり、その関連費用は一定の按分比率により各報告セグメントで負担しております。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を記載しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を記載しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	飲食・小売	製造・卸売	農畜産	計	全社・消去	合計
減損損失	1,852	—	—	1,852	—	1,852

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	飲食・小売	製造・卸売	農畜産	計	全社・消去	合計
減損損失	5,392	—	—	5,392	4,642	10,034

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	飲食・小売	製造・卸売	農畜産	計	全社・消去	連結財務諸表計上額
当期償却額	—	—	—	—	15,192	15,192
当期末残高	—	—	—	—	45,578	45,578

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	飲食・小売	製造・卸売	農畜産	計	全社・消去	連結財務諸表計上額
当期償却額	—	—	—	—	15,192	15,192
当期末残高	—	—	—	—	30,385	30,385

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(1 株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	35.31円	74.04円
1株当たり当期純利益	27.78円	36.02円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	238,583	345,999
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	118,070	91,870
(うちA種優先株式 (千円))	(118,000)	(91,800)
(うち非支配株主持分 (千円))	(70)	(70)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	120,513	254,129
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	3,413,221	3,432,221

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	96,811	125,115
普通株主に帰属しない金額 (千円)	2,000	1,800
(うち優先配当額 (千円))	(2,000)	(1,800)
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	94,811	123,315
普通株式の期中平均株式数 (株)	3,413,221	3,423,289

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。